

夢中になった 熱い夏

人形劇フェスタ 2014



人形劇フェスタ二〇一四「は「舞台の上は無数の世界」というテーマのもと約二百七十劇団による約四百八十ステージの人形劇が上演されました。

竜丘地区でも八月六日の上川路公民館での公演から始まり五日間に渡り十九の公演が行われました。八月九日に竜丘公民館で行われた二公演を取材に行ってきた。時間が来ると館内は子どもから大人まで多くの観客で一杯になりました。

人形劇団くりきんとんの公演では、軽快なピアノ演奏をベースにひじと森の動物たちのやり取りを題材に躍動感のある人形劇を会場の皆さんは見入っていました。公演終了後ステージ前で劇団の皆さんとの写真撮影会もあり、子供たちはステージ前に詰め寄り劇団

夏の風物詩である人形劇フェスタ二〇一四は、八月五日から十日まで市内の各地で公演され、当地各公民館などで十九公演行われ楽しい交流会がもたれました。

の皆さん達と記念写真の撮影が出来満足そうでした。

人形劇の歴史を調べると飯田は京と江戸の真ん中に位置することから、西と東の両様の文化が流れ込む位置にある中で、浄瑠璃の人形遣い達、上方から飯田市の黒田地区に流れて来たのが当地区の人形劇のルーツと言われ、黒田人形、今田人形が語り継がれ今日までその伝統が守り継がれています。

人形劇の公演を鑑賞しての感想ですが、それぞれの人形劇は奥が深く、気豊かな人形劇からプロの人形劇までの差こそあれ、この時期に当地区で人形劇を見られる機会に恵まれていることはすばらしいことです。

今後も夏休みのこの時期に大人も子供も一緒に人形劇を楽しみ時間を大切にするともに地域の伝統文化を考える機会としたいと思います。

八月七日(木)午後六時三十分より、時又ふれあいセンターで人形劇団たたくファミリーの公演がありました。

天気も何とかもったためか、開場前から沢山のお客さんが並び、開演前には会場が一杯になりました。

公演内容は、子犬のボチがお兄さんを助けるためにスーパードラゴンの角を貰いに行く旅の物語で、最後には、劇団の名前



いい大人人形劇フェスタ 時又ふれあい センター公演

八月七日(木)午後六時三十分より、時又ふれあいセンターで人形劇団たたくファミリーの公演がありました。



紙飛行機の飛行が行われ、う」と感謝の気持ちを伝えました。

紙飛行機の飛行が行われ、う」と感謝の気持ちを伝えました。

紙飛行機の飛行が行われ、う」と感謝の気持ちを伝えました。

の由来にもなっている沢山の拍手がありました。

また、劇が終わった後は登場した人形が舞台上に並べられ、子供たちと一緒に記念撮影もあり、拳で写真撮っていました。

皆さん喜んでお帰りいただき、大変良かったです。

最後には、劇団の方と交流会を行い、劇団の方も満足して帰路につきました。

去る七月三十一日、ふるさとコンサートin竜丘がサックスフォー・カルテット「桜」を迎え、竜丘公民館大ホールで行われました。

女性らしさと、力強く美しい満開の桜のように人の心をつかみ、カルテットでありたいと結成された「桜」。ルーマニア国際室内楽コンクール等で、特別賞を受賞するなど、様々な場所で積極的な活動で活躍されています。

竜丘コーラスの皆さんによる歓迎セレモニーでコンサートが始まり、サックスの演奏で「HARUKAZE」を聴き、曲の由来やサックスの解説を楽しいトークを交えて説明して頂き会場も和やかな雰囲気、生のサックス演奏に触れることができました。続いて、



緑ヶ丘中学校吹奏楽部と合同演奏

サックス演奏にふれる ふるさとコンサートin竜丘

力ある演奏に会場が聴き入りました。

夏のひととき、輝く陽光と爽やかにふきぬける風のように多彩に織りなされる音楽を心ゆくまで楽しめるコンサートでした。

世の中には「ルール」というものがある。日本では「日本国憲法」が重要な「ルール」になる。憲法第九条の集団的自衛権の考え方が議論されている。

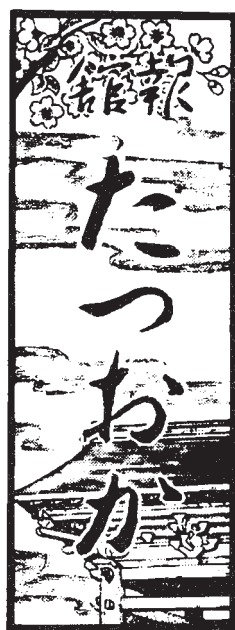
世界では、イギリスのスコットランド独立にたいする住民投票で、賛成、反対が拮抗していたが、独立反対という形で幕を下ろした。賛成が一票でも多かった場合は、投票率に関係なく独立という形になったそうです。

竜丘においては、十月十二日(日)に恒例の市民運動会が行われます。事前準備が、スタッフの皆さんを中心にこなされています。競技種目の内容、ルールについては、体育委員会で写真真をつくり、企画委員会承認を受け実行に移るといふ流れで行なわれています。

今年度企画委員会の討議の中で、「ルール」を見直し違反した場合には、「失格」にしたほうが良いとの意見が出され、賛成されました。その結果「運動会の目的は、勝ち負けもあるが、それ以上に地区民の交流の場としてが重要」との事でした。そして、失格ではなく、減点を多くする事で今年度の運動会は実施されます。

「違反は違反」との意見は理解できますし、「交流の場での失格は厳しすぎる」との意見も理解できます。

「ルール」は物事を行なうのに重要であり、円滑に運営するにも重要です。地区民にとって、どのような内容が一番最適かを考えながらの熱い議論があった事を紹介しておきます。



発行所
飯田市竜丘公民館
編集人
竜丘公民館広報委員会
印刷所
龍共印刷株式会社
飯田市上郷黒田 ☎22-5353

人口 6,970人
男子 3,392人
女子 3,578人
世帯数 2,471戸
(26年8月末現在)

感謝の気持ちで発表

小学校クラブ発表会

梅雨明けも真近となった七月十八日の金曜日に、竜丘小学校のクラブ活動の発表会が行われました。

図工室では、陶芸・折り紙・切り絵・手芸・木工・絵手紙・書道・おしなご・竹細工の九つの展示がされ、各自の努力と工夫が、活動の楽しさを表現しているように見えました。

午後三時三十分からは、体育館で五つのクラブから活動が発表されました。

初めに、琴クラブの六名と講師を合わせた七名で、「夕焼け小焼け」の演奏が行われ、琴の優しい音色が館内に響き渡りました。

次に、おしなごクラブの八名により、各自手製の「おしなご」で五つの遊びが披露され、昔を懐かしむ方々が食い入るように見ていました。

また、図工室に展示したクラブの十四名による竹とんぼは、高く飛び皆の苦心が実を結んだ披露となりました。

手話クラブでは、六名の皆さんが手話で自己紹介しました。その後音楽に合わせての手話は楽しげで、発表がすべて手話で行われました。

最後の工作クラブは、プロペラ飛行機と、プロペラ

紙飛行機の飛行が行われ、う」と感謝の気持ちを伝えました。

紙飛行機の飛行が行われ、う」と感謝の気持ちを伝えました。

紙飛行機の飛行が行われ、う」と感謝の気持ちを伝えました。



紙飛行機の飛行が行われ、う」と感謝の気持ちを伝えました。

ヤフ呷

世の中には「ルール」というものがある。日本では「日本国憲法」が重要な「ルール」になる。憲法第九条の集団的自衛権の考え方が議論されている。

世界では、イギリスのスコットランド独立にたいする住民投票で、賛成、反対が拮抗していたが、独立反対という形で幕を下ろした。賛成が一票でも多かった場合は、投票率に関係なく独立という形になったそうです。

竜丘においては、十月十二日(日)に恒例の市民運動会が行われます。事前準備が、スタッフの皆さんを中心にこなされています。競技種目の内容、ルールについては、体育委員会で写真真をつくり、企画委員会承認を受け実行に移るといふ流れで行なわれています。

今年度企画委員会の討議の中で、「ルール」を見直し違反した場合には、「失格」にしたほうが良いとの意見が出され、賛成されました。その結果「運動会の目的は、勝ち負けもあるが、それ以上に地区民の交流の場としてが重要」との事でした。そして、失格ではなく、減点を多くする事で今年度の運動会は実施されます。

「違反は違反」との意見は理解できますし、「交流の場での失格は厳しすぎる」との意見も理解できます。

「ルール」は物事を行なうのに重要であり、円滑に運営するにも重要です。地区民にとって、どのような内容が一番最適かを考えながらの熱い議論があった事を紹介しておきます。

ガンバッタ第7分団 飯伊消防技術大会



飯伊消防技術大会は、七月十三日に、平谷村総合グラウンドで行われました。竜丘からは桐林班、駄科班が出場し、桐林班が第三位と健闘しました。

六月二十九日、飯田市消防技術大会が桐林運動場にて行われ、竜丘分団を代表してポンプ車操法の部には桐林班が出場、小型ポンプ操法の部には駄科班と長野原班が出場しました。

結果は、ポンプ車の部で桐林班が十七チーム中第三位、小型ポンプの部で駄科班が三十一チーム中第四位となり、それぞれ飯田市代表として飯伊消防技術大会への出場権を勝ち取りました。飯伊大会当日は時折強い



雨の降るあいにくの天候でしたが、出場した飯田下伊那の市町村を代表する各チームは、日頃の訓練の成果もあり、悪天候中でもさすがと思わせる動作をしていました。

飯伊消防技術大会が、七月十三日平谷村総合グラウンドにて開催され、自動車の部で桐林班が、小型ポンプの部で駄科班が出場いたしました。地域の皆様方をはじめ、消防団OBの方々より過大なるご支援を頂き、第七分団を代表して厚く御礼申し上げます。

飯伊消防技術大会
に出場して
第7分団長
下平 勝哉

消防団の皆さんは、この消防技術大会を通じて、厳しい訓練に取り組み過程で、消防団の規律や連帯感を高め、竜丘地区の安心安全のために献身的に取り組んでいます。

今回の大会には三年ぶりに二チーム出場ということもあり、分団として大いに盛り上がりました。駄科班は分団大会においても、連覇を成し遂げている竜丘の雄として今大会に二十二チーム出場している強豪ぞろいの小型ポンプの部に臨み、豪雨の中上位の八位という成績を収めました。桐林班は、自動車になってから初の飯伊大会出場ということと、一番員の選手が今年操法大会自体初の出場で飯伊

大会まで進んだラッキーボーイがどこまでやれるかとハラハラしていました。練習でも出ないような素晴らしい操作を本番で披露して三位入賞と素晴らしい成績を収めました。地域の皆様方のご理解とご協力があったからこそのこのような結果を出すことが出来ました。来年度も若くて選手層が厚い第七分団ですので、今年以上の成績を収めることができると思っています。期待してください。

全国大会で大活躍

全国中学校体育大会へ竜丘地区からは、陸上の木下博貴さんと水泳の松村翼さんの二人が出場しました。



木下さんは、二位はうれしいが、トップと差が大きく、この差を埋めていきたい」と感想を述べました。「短距離はミスすると終わるため緊張するが、良いタイムが出るとうれしい」「目標はオリンピックだが、一気にはたどり着けない。目の前の大会を頑張っていく」と抱負を語ってくれました。十月の国体に向け強化合宿に参加し練習に励んでいるとのことでした。

水泳の松村さんは背泳ぎで百メートルと二百メートルの二種目に出場しました。タイムは、百メートルが一分一秒九四で二十九位、二百メートルが二分一十九秒二で二十九位と健闘しました。

松村さんは、全国大会を目指し大きなフォームの泳ぎ方に取り組んで練習してきました。「全国大会は雰囲気違う。出場できてうれしい。ベストタイムでないのが悔しかった」と感想を述べ、夢は「高校でインターハイ決勝に残ること」と力強く語ってくれました。

二人とも今後の活躍が期待されます。また、今年度、緑ヶ丘中学校の部活動が北信越大会にコマを進めました。

主な成績は次のとおり
陸上競技部
男子百m 優勝

水辺の楽校 交流イベント



水生生物、陸上生物の観察採集を行ないました。途中から晴天になった。途中から晴天になつてきたこともあり、子供たちも体中びしょぬれになりながら夢中で水中生物をつかまえていました。観察の時間を十時半までに終了し、休憩の時間。次第に日射しが強くなってきたので、ちょうど中央部立木の木陰が大きく広がってきた場所にシートを敷込み、休憩場所として九月七日に行なう事ができました。例年天候に悩まされていますが、前日夜中に雨が降り切ってくれ、朝は曇り空で少し肌寒い中、開会式を行ない、小学児童達は二つのグループに分かれ、かわらんべの中村貴俊先生と飯田市美術館の四方圭一郎先生を講師に招き、



今年水辺の楽校イベントを九月七日に行なう事ができました。例年天候に悩まされていますが、前日夜中に雨が降り切ってくれ、朝は曇り空で少し肌寒い中、開会式を行ない、小学児童達は二つのグループに分かれ、かわらんべの中村貴俊先生と飯田市美術館の四方圭一郎先生を講師に招き、トを敷込み、休憩場所として九月七日に行なう事ができました。例年天候に悩まされていますが、前日夜中に雨が降り切ってくれ、朝は曇り空で少し肌寒い中、開会式を行ない、小学児童達は二つのグループに分かれ、かわらんべの中村貴俊先生と飯田市美術館の四方圭一郎先生を講師に招き、

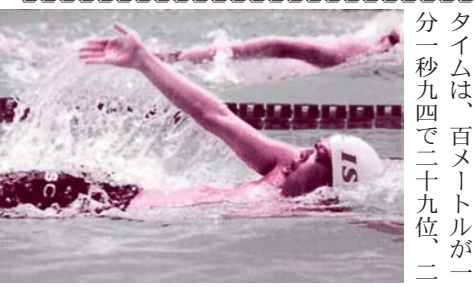
躍、大人の学校の活動、古墳を考える会の取り組みについて、現地も視察しながら話を聞きました。二十七日には駄科地区において、新井原集会所やゴミ集積所、鈴岡城址公園を回り、お昼は区民センターで炊き出し訓練を体験、その後民謡サークルの活動を見学し、着物を着て皆で、りんご園を踊りました。区長や分館長から、住民活動の実際を聞き取りました。最終日には、竜丘公民館で研修員と関係者の交流会が開かれ、野楽路による手作り料理が振る舞われ、研修生による歌や鈴岡太鼓の演奏があり、交流を深めました。

去る七月二十一日に、フィリピンで飯田の公民館をモデルとした自治の仕組みづくりを進めている、レガスピ市の市長が来日し、同様に研修をしてきました。

毎年、多くの国から研修に来ており、世界に向け竜丘の公民館の取り組みが広がっており、今後が楽しみです。

長野原夏祭り

恒例の「長野原夏祭り」が八月十五日に行われました。まず、午前中は「魚のつかみ取り」。農協前の大井川をせき止めた特設池に放流したニジマスと小学生の子どもたちが競って捕まえます。また、小さな子どもは金魚すくいを楽しみます。夕方からは「子どもみこし」がスタート。小学生から保育園児まで「ワッショイ! ワッショイ!」と元気なかけ声で区内を練り歩きます。



公民館活動を 世界に発信

国際協力機構(JICA)の参加型地域社会開発(P.L.S.D)研修が、八月二十五日から三十日まで飯田市の公民館で行われました。五力国十

五人の研修生が、自治や公民館の仕組み、活動について学びました。二十六日には、竜丘公民館の組織や活動、女性の活躍、大人の学校の活動、古墳を考える会の取り組みについて、現地も視察しながら話を聞きました。二十七日には駄科地区において、新井原集会所やゴミ集積所、鈴岡城址公園を回り、お昼は区民センターで炊き出し訓練を体験、その後民謡サークルの活動を見学し、着物を着て皆で、りんご園を踊りました。区長や分館長から、住民活動の実際を聞き取りました。最終日には、竜丘公民館で研修員と関係者の交流会が開かれ、野楽路による手作り料理が振る舞われ、研修生による歌や鈴岡太鼓の演奏があり、交流を深めました。

